

令和6年9月 市長定例記者会見

令和6年8月30日(金)

午後1時30分 開始

【広報広聴課長】 それでは定刻となりましたので、ただいまから市長定例記者会見を始めさせていただきます。

初めに市長よりご挨拶申し上げます。

【市長】 皆さん、こんにちは。本日は、9月議会の招集を告示させていただいています。来週の金曜日、9月6日から議会が開会ということです。議会では9月補正予算、一般議案を上程させていただきますので、議会にご承認をいただけるようにしっかりと説明をしていきたいと思っています。

それから、あさって9月1日から4日間、9月1日から9月4日まで敦賀まつりが開催されます。北陸新幹線が敦賀にやってきて敦賀開業を迎えた最初の、初年度のお祭りということになります。昨年に引き続きまして北陸新幹線開業イベントも予定しておりますし、ステージイベントや新幹線沿線自治体の観光物産展などが開催されるという予定です。たくさんの市民の方にも来ていただきたい、ご参加いただきたいと思っておりますし、また市外、それから県外からもぜひたくさんの方にお越しただいて楽しんでいただけたらと思います。

ただ、今、台風が来ているので、予定変更などもあるかもしれないですが、またそれはしっかりと皆さんにお知らせできるようにしていきたいと思っておりますので、台風も含めて安全、それから熱中症に十分気をつけながら我々もやっていきたいですし、皆さんにも楽しんでいただきたいと思っています。

【広報広聴課長】 続きまして、事業発表に移ります。

令和6年度9月補正予算案の概要について、お願いいたします。

【市長】 先ほども申し上げましたけれども、9月6日から9月議会が始まるというところで、そこで上程させていただきます補正予算について説明をさせていただきます。

今回の補正予算につきましては、前回補正以降に予算措置が必要となったものを計上しております。

それでは、ポイントということになりますと、まず子育て、それから教育環境の充実ということの予算です。

最初の子ども医療費助成費というところなんですけれども、令和7年4月1日、来年度

から、子ども医療費の助成、敦賀市もやっておりますけれども、小学生以上で自己負担がまだ少し残っております。この自己負担を廃止するというので、4月1日に向けてシステム改修、それから受給資格者証というものがあるのですが、その発行などを行います。

それから、こども計画策定事業ということで、こども政策を総合的に推進するというので、法律でいうと、こども基本法がありますけれども、その理念に基づく政策を敦賀市としても総合的に推進していくために、新たにこども計画というものを策定します。それについての予算ということになります。

それから、学校体育館の空調設備導入検討事業ということで、もう皆さんも感じていると思うのですが、最近の夏というのは猛暑ということで、小中学校の体育館で、授業や部活動をしていくときに、この暑さというのが大分ネックになっている、支障を来しているということがあります。ということで空調設備の導入を検討するために、結構大規模な事業になります。実際これは工事していくと大規模な事業になりますので、それに向けて調査を実施するというので、小学校、中学校それぞれに予算を盛っている。避難所として使うときの暑さ対策で冷房が必要ではないかというような記事も出ている新聞社がありましたけれども、そのような意味合いもこの事業に入ってくると思っています。

その他としまして、主に4つご紹介をいたします。

海浜公園管理事業ということで、敦賀港の長期構想がありますが、大体30年スパンで敦賀港、それから海水浴場とか海浜公園など、そういうところについての構想がありますが、その中で海浜交流ゾーンに位置づけられている東浦地区の赤崎海浜緑地公園、写真があります。駐車場があるんですが、ここに自動ゲートを設置して駐車場管理の効率化と利用者の利便性向上を図っていきたいというものです。

2つ目に、歴史遺産活用推進事業というもので、第35回北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井を開催することに関連する事業ということです。日付でいうと11月21日から23日にかけて、加賀市、それから福井県の関係市町で共催するというものなんですが、福井県でいうと福井県、それから北前船寄港地になっている関係市町、全部で5市町でやることについての予算ということになります。今回、加賀と福井ということになっているんですが、フォーラムの第35回、ここでやることの意味づけとしましては、能登半島地震復興支援の一環ということで開催をするということです。

3つ目に、西公民館建設事業ということで、場所というところと現在の市立敦賀病院の駐車場に当たるところなんですけれども、そこに西公民館の移転新築を予定しています。目標と

しては令和9年度の供用開始ということですのでけれども、それに向けての実施設計等を行うということの予算です。

4つ目に、運動公園管理運営費ということで、敦賀市の公共施設、例えばスポーツ施設もそうですし、あと社会教育施設等々、公共施設がありますけれども、そのトイレがまだ和式が結構残っているということがありまして、トイレの洋式化を計画的に進めていこうということにしています。トイレの洋式化を計画的に進めるに当たって、まずはニーズ、要望がある総合運動公園体育館のトイレの改修を実施するところからスタートしていくということで、この予算を持っております。

主なところ、今回の補正予算について説明をさせていただきました。

【広報広聴課長】 それでは、ただいま発表いたしました項目につきまして質問をお受けいたします。

最初に幹事社さんからお願いいたします。

【記者】 子育て・教育環境の充実、学校の体育館の空調設備導入検討事業というところに小中合わせて500万円盛られていると思うんですけども、これは設置するための事業費という考えでいいですか。

【市長】 これは設置するとなると工事とかが入ってくるんですけども、その前の調査ですね。例えば、どういうタイプのもを入れたらいいのか、どういう容量のもを入れたらこの体積の体育館に合うのか、そのようなことを調査して、最もいい形で実際の工事、事業を行っていくということを考えて、そのための導入検討ということで調査を実施するための予算ということになります。

【記者】 置くための調査をするのに500万円がかかっているという感じですか。

【市長】 はい、そういうことです。例えば体育館というのは結構大規模なところで、そこでどういう冷房を入れると、空調設備を入れると、例えばエネルギー消費としてもいいのか、効率がいいのかなど、いろいろあると思います。また他市町でやっているところもありますから、その調査もするというのでやっけていこうと思っています。

【記者】 子育て・教育環境の充実ということで、子ども医療費助成費の予算を入れていただいていますけれども、これで令和7年度からは何歳までの子供の医療費が実質無償化になるのでしょうか。

【市長】 18歳までですね。18歳になると高校へ行っている人も行っていない人もいると思うんですけども、18歳を含む、ですね。

【記者】 今は何歳までですか。

【市長】 今も高校生までになっていて、今は初回、月に500円までが発生しています。だから医療費助成ということで、完全に無料化、無償化ということではなかったんですが、これで完全に無償化されるということになります。

【記者】 月初め、最初の分に500円かかっていたのがなくなるということなんですね。

【市長】 はい、そうです。

【広報広聴課長】 次に、各社よりお願いいたします。

【記者】 今の子ども医療費の助成について、県内各市町、既に結構先行されて完全無償化をやっているところがあると思うんですけども、現在の市町でいうとどこまで完全無償化、高校生まで拡大されているところ、どれだけあるかは御存じでしょうか。

【福祉保健部長】 敦賀市と福井市、小浜市、池田町、4市町になります。

ただ、福井市は今年度中に完全無償化を開始すると聞いております。

【記者】 そうすると、13市町はもう導入されているということですか。

【福祉保健部長】 はい。13市町は完全無償化を実施しているということです。

【記者】 改めて、これまでも小学生以上のお子さんを持っていらっしゃる保護者の方から、高校生まで切れ目ない支援を求めるような、そういうようなお声も結構寄せられていたということなんですか。

【市長】 そうですね。そういうことももちろんありますし、敦賀は割と子ども医療費助成に関しては、全国的に見てもリードしてやってきたと思うんですね。特に県内ではそうだったと思うんですけども、例えば、そういうことを始めたということや、あるいは助成対象を拡大していくということではそうだったと思います。ほかの市町も同じようなことを実施するようになり、例えば、先ほどお話しした初回500円が必要というの、他市町も含めて助成していくということになっている。その中で、敦賀市はその対応をやっていないというのもあって、他市町の状況も見ながら敦賀市もその部分もやっていこうということで、来年度の4月1日から実施するというように考えています。

【記者】 あと、小中学校の体育館への空調設備の導入ですけれども、今回調査に入られるということですが、設置時期というのは今の時点ではまだ未定ということなんですか。

【市長】 まだ未定なのと、学校はもちろん市内に小学校、中学校が幾つもありますけれども、どの順番でやるなど、いろいろあると思うので、例えばやり始めたとしても一遍に

全部やるということではなく、計画を立てることも含めてやっていくということです。

【記者】 全ての小中学校への導入を想定はされていらっしゃるということでもよろしいですか。

【市長】 基本的には。

【広報広聴課長】 ほかがございますでしょうか。

それでは、フリーの質問対応に移りたいと思います。

初めに、幹事社さんからお願いいたします。

【記者】 8月16日に6年ぶりに花火大会が開かれましたけれども、6年ぶりに開催されて、どういった感想だったかというところをお聞きしたいのと、あと9月1日から敦賀まつりが開催されますけれども、それへの意気込みみたいなところをお聞きしたいと思います。

【市長】 祭りも花火も敦賀市が主催というわけではないんですけれども、本当に敦賀市の行事としては2つとも大事な行事だと思って、市役所も頑張ってやっていきます。その中で花火大会については、ずっとこれに携わっているスタッフ、例えば観光協会のスタッフが、こんなにたくさん人が来てくれたことはない、本当に過去最高に来てもらっているのをすごく興奮した感じで言っていましたので、たくさんの人に見ていただいたというのはすごく我々としてもありがたかったです。また、反響というか実際見られた方の反応を聞いてみても、本当に花火よかったよと、6年ぶりというのものもあるかもしれませんが、フィナーレが感動した、などと言われたので、今年も天気を結構心配したんですけれども、やれてよかったなというのが率直な感想です。私もすごく楽しみましたし、うれしかったです。

祭りは、台風が心配なんですけれども、新幹線が開業して最初の祭りということで、たくさんの人に来ていただきたいなと思っています。いろんなイベントもやります。また、御神輿や山車の巡行は、敦賀で昔からあります。例えば新幹線の2階のコンコースの柱にあるのは山車の幕のレプリカですけども、しつらえてあるということで、やはり敦賀のシンボルということもありますから、それをたくさんの人に見ていただきたいと思っています。

3日、4日の天気はもちそうなので、多くの人に見ていただけたらなと思っています。

加えて、花火も祭りも我々地元にとっても大事だし、新幹線も来たということで、外からお客さんに来ていただくということに関して言うと、経済効果みたいなもの、特に花火

はあれだけの人に来ていただいている中で、経済効果というのをどれだけ最大化していくかというのをこれからいろいろ考えてやっていけたらなと思っています。今回の花火も、ホテルなどの花火の企画や、あるいは浜茶屋の有料の席が全て完売しているというのがありますし、そのようなところで経済効果というのがこれから大きくなっていくと、やりがいもあると思います。過去最高に人が来ていますよというところの盛り上がりがそのようなところの効果にも結びついていけばいいなと思っています。

【記者】 原発の政策のことなんですけれども、昨日、日本原電から六ヶ所の再処理工場に関して完成目標が26年度になることが発表されて、全原協の会長として、このことについてどのように受け止めていらっしゃるかというのをまずお伺いしたいです。

【市長】 六ヶ所の再処理施設については、前も同じような質問があったかと思うんですけれども、バックエンド側の核燃料サイクルを前提としたときに、本当に重要な施設、サイクルの中の大事なピースであるということは間違いがないので、今回そうやって2年半遅れるということなんですけれども、これについては本当に国、それから事業者においては、しっかりと進めていただく、竣工に向けてしっかりと取り組んでいただきたいと思っているというのが、これまでも全原協として言ってきたことですし、今回のことを踏まえてもそこは強く要望したいと思っています。

【記者】 敦賀2号機の話に移るんですけれども、先日、不合格案というのが了承されて、敦賀市としては、前回は影響はゼロではないと思うけれども先日の囲み取材の中でおっしゃっていたと思うんですけれども、原発が止まっている状況が10年以上続いて、依存度もだんだん低減はしていっています。ここ最近だと、ふるさと納税の収入が原発の関連収入を上回っている状況が続いていて、2号機に関しては今すぐ廃炉というのはないと思うんですけれども、敦賀市で稼働できる原発がゼロ基状態が当分は続くことが今後も予想される中で、今後、市としてどのような財政運営を目指していきたいかということについて、市長の現時点でのお考えをお聞かせいただきたいと思います。

【市長】 市の財政ということ言うと、まだ敦賀2号機に関して言うと、今年と来年、それから再来年で敦賀2号機のステータスが変わるわけではない。という意味では、今年、来年で何か大きな影響が財政的にあるかということ、それはないということです。

その先については、これから日本原電もデータをそろえて、もう一回再申請ということ言われている中ですので、それ以降のことについては、例えば敦賀市の財政への影響など、そのようなコメントは控えておこうと思います。

【記者】 この後、まちづくり観光部から開業半年ということで実績もお示しいただけるということですが、おおむねあの数字を拝見すると1.5倍ぐらいで堅調に推移しています。改めて開業から半年間の評価といたしますか、手応えといたしますか、総括をお聞かせいただければと思います。

【市長】 約半年、堅調・順調に来ていると思っています。まちづくりや、例えば商店街の活性化など、そういうことで言うと、まだ一区切りついたということではなく、継続していて、活性化の動きというのは続いていると思っています。本当にそういう意味ではありがたいと思っています。

それが、今の感想だとすると、これからのことを考えると、これをいかに持続していくのかということや、あるいは、より多くの市民にその効果というものを感じてもらえるのかということが課題。そこを感じてもらう中で、先ほど言いましたけれども活性化の動き、それをできるだけ長続きさせていきたい。

その効果というのを感じて、自分たちがここでアクションすればちゃんとメリットがあると、それを感じてもらっている。そういう雰囲気があるので、お店を出そうとかそういうことに繋がっていると思う。開業効果というところを明確に我々も把握して、それを市民にも分かってもらうことによって、活性化の雰囲気を持続させる。例えば、具体的に言えばお店を出そうと。その結果として商店街のシャッターが一つ二つ、もっと開いていくというような流れにつなげていけたらと思っています。

【記者】 この半年間で見えてきたいろんな面があると思います。駅周辺のところや、それ以外のところ、嶺南全域のにぎわいなど、半年間で見えてきた課題とか今後の展望みたいなところについて、現時点でいかがでしょうか。

【市長】 課題としては、今は確かに人がたくさん来ていただいている、一番来ていただいているタイミングだと思います。そのピークに合わせて物事を考えるのかという話はあるのですが、ただ、現状で言うと、例えば宿泊はもっとあっていいのかなと思っていますし、ホテルの稼働率が大変いいと聞いていますのでそういう感想を持ちます。実際、本町通り周辺で一つホテルができますけれども、そうなったときに昼、夜の飲食が足りるのかということ、もっとあっていいということだと思います。先ほど活性化のマインドを持続したいという感じで言いましたけれども、持続する中で、今こそそういうような動きにつなげていかないといけないと思っています。

さらに、課題というのはやっぱり実際3月16日以降いろいろあって、それについては

一つ一つ解決というか、いい方向になるようにしていきたいと思っています。例を挙げると、駅の周りの駐車場の問題であったりと思いますし、商店街を通過して敦賀市内の観光地、例えば気比神宮に行く、そのルーティングの問題というか、ちゃんと商店街を通過してもらって、できたら買物もしながら気比神宮のほうに行ってもらおうとかそういうことになるかと思うんですけども、そういうところはこれからまだ頑張る余地はあるのかなと思っています。

【記者】 先ほどの開業効果の関連で、金ヶ崎周辺の開発を計画されているかと思いますが、その進捗状況と現状の開業時期の見込みなどを教えてください。

【市長】 多分、開業と言われているのは民間施設のほうのことを言われているのかなと思うのですが、民間施設のほうについては、今民間のほうで今後の事業運営をどうやっていくのかというところを検討してもらっている。その段階というのは変わってなくて、今も検討継続中ということです。

金ヶ崎については、そのエリア以外、公的に我々が公共の部分として整備していこうという部分があって、それは今の緑地、道を挟んでJR貨物の土地というところになりますけれども、これまでもお話ししているように、その土地については敦賀市のほうで購入して公園として整備していくということを考えていますので、今その購入について詳細を詰めているという段階です。

質問されたことで言うと、いつあの施設がオープンするなど具体的なスケジュールというのは、ちょっと出てきていないということです。

【記者】 公共部分のほうについては、たしか購入資金だったりとか予算化がされていたかと思うんですけども、まだ購入の手続きは終了しているわけではないということですか。

【市長】 先ほども申し上げましたように、詳細を詰めている部分がありますので、そこ詰まり次第、購入の手続きということになると思います。

【記者】 あと公共部分のほうについての整備完了時期というのは、民間さんのほうと足並みを合わせていくということになるんですか。

【市長】 それは、まだちょっと民間のほうの例えばスケジュールとかが分からないので、それがあんまり先の話になってしまうのであれば、公共の部分、公園ですね。そのところが先行してやるということになると思いますし、そこはまだこれから詰めなきやいけない話だと思います。

一応公共の部分、こうやっていけたらというスケジュールは内々には持っているつもり

なんですけれども、民間の部分との兼ね合いというのが出てくるので、それはこれから詰めることかなと思っています。

【記者】 まだちょっとオープンにする段階ではないと。

【市長】 そうですね。まだちょっとオープンにする段階ではないです。

【記者】 幾つかあるんですが、新幹線の話が続いているのでそちらの話からお願いしたい。

一つ、もうすぐ半年というところで、これから先、敦賀より西という課題がある中で、半年間実際に敦賀まで延伸した中で、今後の敦賀以西のルートに対して、議論の追い風になるようなもの、何か参考になるような現象だったり数字だったり、そういったものが見えてきていたら教えてください。

【市長】 敦賀まで延びてきたことで、先ほどの人流というところは大きく変わってきたと。今日、ちょうどお昼のワイドショーでもやっていましたけれども、敦賀のことが紹介されるときに、東京から行きやすくなった敦賀、福井県と紹介されていたんですね。やっぱり東京からもそのように思ってもらっているというのを、我々ずっとこっちにいるとそこら辺が分かりにくいところかもしれませんが、全国放送の紹介を聞いてそのように認識してもらっている。みんなもそのように思ってくれたらうれしいなと思っていて、これから敦賀以西というのも当然、我々ずっと堅調に来ているよということを敦賀以西でも体験してもらおう。我々が堅調である、順調であるということが敦賀以西にもそういう意味ではつながっていくんだらうと思っています。

あともう一つ、以西ということで考えると、この半年間で何回か東海道新幹線が止まったことがあるんですね。昨日なんかもそうでしたよね。昨日を入れると大きく3回ぐらいあったことになるかと思うんですけれども、そのたびに北陸新幹線があつてよかったなという話になっているんですね。これがまた金沢までだと、新幹線効果というのがそこまでクローズアップされなかったのかもしれませんが、敦賀ということで割と新幹線に乗っている時間が長くなるというか、時間的にも短縮されるという効果が目に見えて、実感として、肌感としてあつたということがあり、将来的には南海トラフということ、あるいは東海、あるいは関東での地震とかいうことも懸念される中で、今の北陸新幹線のそういった役割というのがこの半年間でかなり見えてきたのではないかなと思っています。

ということは、その効果を最大化する。要は国土を鉄道として軸を2つ持つということの重要性がクローズアップされているということがあるので、敦賀以西の話を、ルートに

についてはもう既に政府のほうから、国土交通省のほうからも大分詳細のルートというのが出てきておりますけれども、あとはスピード感を持って、しっかりと予算をつけてやっていただきたいと思っています。

【記者】 その関連で、沿線の小浜市で杉本新市長さんが誕生されて、前の松崎さん、4期やられていた方と比べると、やはりどうしても経験や人脈というのはなかなか弱みがあるというところはお本人さんも認めているところ。なので、沿線の方々と歩調を合わせてしっかりやりたいんだということはおっしゃっていたところで、敦賀はそういうカウンターパートナーの一つだと思うんですけども、そういった新しいパートナーとどんなふうに協力していきたいか、お聞かせください。

【市長】 敦賀以西ということも、新幹線のこともあるので、そこは本当に協力してやっていくんだと思っていますし、先ほど人脈のこととかいう話がありましたけれども、松崎さんは本当に経験豊富、人脈も豊富な方だったので、そういうことをご本人はおっしゃるのかもしれませんが。今まで、杉本市長と何回かご一緒する機会もあって、その中では新幹線に関しては特別気合が入っているというか、頑張るんだということもおっしゃられているので、協調して敦賀以西の新幹線、少しでも早くやるのが日本のためだとも私は思っていますので、頑張っていけたらなと思っています。

【記者】 話題は替わって原子力の問題ですけれども、先ほど六ヶ所のお話がありましたけれども、今日、関西電力がロードマップの見直しを県に伝えているというところなんですけれども、これ自体は関西電力と県の間で交わされているものですし、敦賀の場合は燃料の搬出先はもう確保されているので、敦賀市長という点では少し関係は薄いかもしれませんが、全原協会長として、県内にはたくさん原発があって大きく影響してくる中で、今回27回目の延期で、もともと1990年代にはできるはずだった工場ということで、書ける数字というのは確かに26年しかないのかもしれませんが。一方で、これだけ不確かなものというのを搬出計画の中で掲げるのはいいとしても、次善の策というのがあまりにも薄いというのは、行政としての危機管理という点ではあまり好ましくないのかなと正直感じています。その点、使用済燃料の搬出という極めて重要な問題に関して、関西電力が直接再処理工場を造るわけにはいかないのが難しい立場にあると思うんですが、それも踏まえた上で、この点どのような姿勢かお聞かせください。

【市長】 今日、関電さん、ロードマップを出されたんですかね、県に。

【記者】 見直すことを伝えたというところですか。

【市長】 なので、まだ関西電力が見直したロードマップというのを見てみないと、コメントはしにくいです。いずれにしても、先ほども質問に答えましたけれども、六ヶ所の施設というのは重要な施設であることは間違いない。一方で、27回目の延期ということの中身を見てみると、ここ数年、何回分も実際は例えば規制委員会との対応だったり、要は初期の頃の技術的な問題ではなくて、今はそういう規制委員会対応とか、あるいは新規制基準対応とかも含めてですけれども、そういうところでの延期ということで、技術的にクリアできない問題があるとかそういうことではない。今回もたしか再処理工場の耐震性のことであったり、そういうことの規制委員会対応での延期ということで聞いていますので、技術的に不可能なものではないという我々は認識でいますので、そこはしっかりと規制委員会のほうもクリアしていただいてやっていただく。

ただ、そこで延期すると、六ヶ所の計画に基づいて関西電力も立てたと思うんですけれども、そこでこうやって影響が出てくるというのは、それは否めないところはあるので、関西電力が今度出てくる新しいロードマップを見てみないと何とも言えませんが、ロードマップをつくるときでも慎重な対応というのは必要なかもしれない。なかなかそこを前提として含むというのは難しい部分があるとは承知しますが、そこら辺も考えたロードマップ。特に今回見直しということであれば、そういうことも考慮に入れたものになるのかな。そこは見てみないと分かりませんが、そういうところの難しさを今回は感じたというところです。

いずれにしても、この六ヶ所の施設、しっかりと造っていただかないといけない。先ほども言いましたように核燃料サイクル、これを前提にバックエンド側を日本の場合は考えていくんだということであれば、あの施設というのをしっかりと仕上げていただかなければいけないというのが我々の立場ですね。

【記者】 話を新幹線に戻したいと思うんですけれども、新幹線と、あと今日の台風10号関連で、先ほど、敦賀駅を見させていただきまして、東海道のほうも止まっているということで、かなり混雑しているのを確認しました。

さらに街中を見ますと、乗換えまで時間があるというので、少し街中に出てきている人も確認できた。やはり新幹線開業、終着駅だけでなく乗換駅としての敦賀駅という側面もあるのかなと思ひまして、改めてそこも含めたまちづくりといたしますか、今後まだ大阪までつながるのに時間がかかる中で、そういった視点での敦賀のまちづくり、何かできると思うことがありましたら教えてください。

【市長】 終着駅イコール着くのも終点ということなんですけれども、実際2階のコンコースを見ていると乗り換える方が大部分ではあるんですよ。これを少しでも敦賀駅を一旦出ていただいて、敦賀のまちを少しの時間でも、あるいは1泊でも楽しんでいただくということに持っていったら、我々としてはそっちの方向で頑張りたいと思っています。

これからやっていくんだということですが、そういう意味では駅周辺をはじめ、魅力的なお店もできているし、otta周辺、それからオルパークというスペースもありますから、そういうところを有効に使っていったらと思っていますし、それを先ほどワイドショーとかでもありましたけれども、メディアやSNS、ユーチューブなど含めて、そういうところも活用していきながら敦賀のいいところを知ってもらいたいなど。

例えば電車1本ずらしてでも一回外に出てみようかと思えるようにしていきたいと思っています。それで言うと、敦賀駅の2階のコンコースのところも、できたらそういう誘導ができるような形の何か。今は本当に乗換えをスムーズにすることに専念したような感じになっていますので、今、乗換えのトラブルというのはほとんど聞かないので、敦賀駅で降りるような、そういう人の流れができるような取組を考えて、またJRにも提案、お願いをしていったらと思っています。

【広報広聴課長】 それでは、以上をもちまして市長定例記者会見を終了いたします。

【市長】 どうもありがとうございました。

14時14分終了